

香川県庁東館躯体等基本調査結果から見た文化的価値への影響

比較項目	補強例1	補強例2	補強例3	補強例4	参照資料
	東館：基礎下免震 旧東館：耐震補強	東館：耐震補強 旧東館：耐震補強	東館：基礎下免震 旧東館：基礎下免震	東館：柱頭免震 旧東館：柱頭免震	
主な改修部分					
補強案概要 工事概要	<ul style="list-style-type: none"> 東館：基礎下に免震層を新設。 旧東館：ピロティ柱造り替え、2・3階に鉄骨ブレース配置。 	<ul style="list-style-type: none"> 東館：コア廻り打ち増し補強、耐震壁造り替え。 旧東館：ピロティ柱造り替え、2・3階に鉄骨ブレース配置。 	<ul style="list-style-type: none"> 東館、旧東館ともに、基礎下に免震層を新設。 	<ul style="list-style-type: none"> 東館、旧東館ともに、1階柱頭に免震装置を配置。 	
耐震工事費の割合	0.9	0.7	1.0	0.8	
旧東館下ピロティの開放性	<ul style="list-style-type: none"> ピロティの開放性自体に影響はありません。 ピロティ柱は、同サイズでの造り替えの為、デザインは、変わりません。（2階床下梁は太くなります。） 	<ul style="list-style-type: none"> ピロティの開放性自体に影響はありません。 ピロティ柱は、同サイズでの造り替えの為、デザインは、変わりません。（2階床下梁は太くなります。） 	<ul style="list-style-type: none"> ピロティの開放性自体に影響はありません。 外観・内観共、現状と変わりません。 	<ul style="list-style-type: none"> ピロティの開放性自体に影響はありません。 ピロティは、柱と梁が太くなります。 免震層と免震継手が、見える位置に配置されます。 	ピロティ比較
東館1階ロビーの開放性	<ul style="list-style-type: none"> 工事中1階ロビーは仮設通路を除き使用できなくなりますが、工事後はこれまでどおりの使用ができます。 1階ロビーの開放性自体に影響はありません。 	<ul style="list-style-type: none"> 工事中1階ロビーを含め建物はすべて使用できなくなりますが、工事後はこれまでどおりの使用ができます。 1階ロビーの開放性自体に影響はありません。 	<ul style="list-style-type: none"> 工事中1階ロビーは仮設通路を除き使用できなくなりますが、工事後はこれまでどおりの使用ができます。 1階ロビーの開放性自体に影響はありません。 	<ul style="list-style-type: none"> 工事中1階ロビーは全面的に使用できなくなりますが、工事後はこれまでどおりの使用ができます。 1階ロビーの開放性自体に影響はありません。 	
南側の庭園ふうの広場	<ul style="list-style-type: none"> 工事中資材ヤード等となり、工後は東館の周りに免震ピットのカバーが設置されますが、庭の形状は、現状に復旧できます。 	<ul style="list-style-type: none"> 工事中資材ヤード等となりますが、工後は現状の状態に復旧できます。 	<ul style="list-style-type: none"> 工事中資材ヤード等となり、工後は東館、旧東館の周りに免震ピットのカバーが設置されますので、庭の形状は、旧東館周りで50センチ程度池の幅が狭くなります。 	<ul style="list-style-type: none"> 工事中資材ヤード等となりますが、工後は現状の状態に復旧できます。 	1階平面比較図
屋上庭園	<ul style="list-style-type: none"> 現在、PC製手摺や塔屋のデザイン壁のコンクリートが劣化し、落下の恐れがあるため立ち入り禁止となっているが、塔屋の耐震改修と劣化したコンクリートの補修等を行えば以前のように開放することもできます。 	<ul style="list-style-type: none"> 現在、PC製手摺や塔屋のデザイン壁のコンクリートが劣化し、落下の恐れがあるため立ち入り禁止となっているが、塔屋の耐震改修と劣化したコンクリートの補修等を行えば以前のように開放することもできます。 	<ul style="list-style-type: none"> 現在、PC製手摺や塔屋のデザイン壁のコンクリートが劣化し、落下の恐れがあるため立ち入り禁止となっているが、塔屋の耐震改修と劣化したコンクリートの補修等を行えば以前のように開放することもできます。 	<ul style="list-style-type: none"> 現在、PC製手摺や塔屋のデザイン壁のコンクリートが劣化し、落下の恐れがあるため立ち入り禁止となっているが、塔屋の耐震改修と劣化したコンクリートの補修等を行えば以前のように開放することもできます。 	
建物の外観	<ul style="list-style-type: none"> 東館：変わりません。 旧東館：ピロティ柱は、同サイズでの造り替えのため、デザインは、変わりません。（2階床下梁は太くなります。）2・3階は内部にブレースが設置されるため変わりません。 	<ul style="list-style-type: none"> 東館：変わりません。 旧東館：ピロティ柱は、同サイズでの造り替えの為、デザインは、変わりません。（2階床下梁は太くなります。）2・3階は内部にブレースが設置されるため変わりません。 	<ul style="list-style-type: none"> 現状と変わりません。 	<ul style="list-style-type: none"> 2階からは、変わりません。 1階は、柱と梁が太くなります。 免震層と免震継手が、見える位置に配置されます。 	ピロティ及び③-④通りイメージ比較
「一間四面堂」的な平面形式	<ul style="list-style-type: none"> 内部構造に変更はないため「一間四面堂」的な平面形式は維持されます。 	<ul style="list-style-type: none"> 1000mm厚の耐力壁と1600×1600mmと1200×1200mmの柱がセンターコアに設置され、外部に張り出すため「一間四面堂」的な平面形式はサイズの面では変更されます。 	<ul style="list-style-type: none"> 内部構造に変更はないため「一間四面堂」的な平面形式は維持されます。 	<ul style="list-style-type: none"> 1000mm厚の耐力壁と1600×1600mmの柱がセンターコアに設置され、外部に張り出すため「一間四面堂」的な平面形式はサイズの面では変更されます。 	各階平面比較図
陶画「和敬清寂」	<ul style="list-style-type: none"> 現在の形と変わりません。 	<ul style="list-style-type: none"> 現在の陶画サイズより背面の構造体の方が大きくなります。 	<ul style="list-style-type: none"> 現在の形と変わりません。 	<ul style="list-style-type: none"> 免震機構の関係上、欠損ができます。 	1階陶画の比較
県庁舎として使用し続けること	<ul style="list-style-type: none"> 東館は、コアの設備の使用に制限ができる可能性があります。 	<ul style="list-style-type: none"> 東館は、各階の出入口と執務スペースも狭くなる等コアの設備の使用や執務室に影響があり、庁舎としての使用に制限ができる可能性があります。 	<ul style="list-style-type: none"> 東館は、コアの設備の使用に制限ができる可能性があります。 	<ul style="list-style-type: none"> 東館M2階が、設備配管スペースとなり使用できず、EVも1機のみとなる等コアの設備の使用が大きく制限されるので庁舎の使用に制限ができる可能性があります。 旧東館2階ホール前に大きな設備スペースが必要です。 	各階平面比較図
先行事例等	国立西洋美術館	大阪市旧大津公会堂	JR東京駅舎	焼津市庁舎	